

KMI 膝関節運動テスト

製品構成



セット内容

- 1 本体：1個
 (寸法)使用時 縦100mm × 横155mm × 厚み20mm
 携帯時 縦90mm × 横85mm × 厚み20mm
 (重量)約165g
- 2 サポートベルト：1本 (寸法) 幅30mm × 長さ440mm × 厚み4mm
- 3 キャリングケース：1個 (寸法) 縦130mm × 横140mm × 厚み15mm

添付書類

- 取扱説明書(品質保証書付)：1部
- 医療機器添付文書：1部

仕様

販売名	膝関節運動テスト KMI
医療機器届出番号	13B1X00207000068
類別	機械器具24 知覚検査又は運動機能検査用器具
医療機器のクラス分類	一般医療機器
特定保守管理医療機器	非該当
一般的名称	関節運動テスト
商品コードNo.	19951
測定範囲	(移動量測定範囲) 回転目盛り 0~15mm 側方目盛り 0~20mm (移動量測定単位) 1mm
入数	1セット

KMI KMI



膝関節運動テスト Knee Joint Motion Tester

ラックマニテスタを数値化する
A T T 測定器



アルケア株式会社

東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階 〒130-0013
 TEL.03-5611-7800(代表) FAX.03-5611-7825
www.alcare.co.jp

お問い合わせ：コールセンター

フリーダイヤル **0120-770-863** 土・日・祝日を除く
 午前9：00～午後5：00

●本カタログの内容は2016年9月現在のものです。
 ●商品の仕様、デザインおよび価格は、改良や経済状況の変動などにより予告なく変更することがあります。
 ●本カタログに掲載の写真は、実際の色とは多少異なる場合がありますので、ご了承ください。



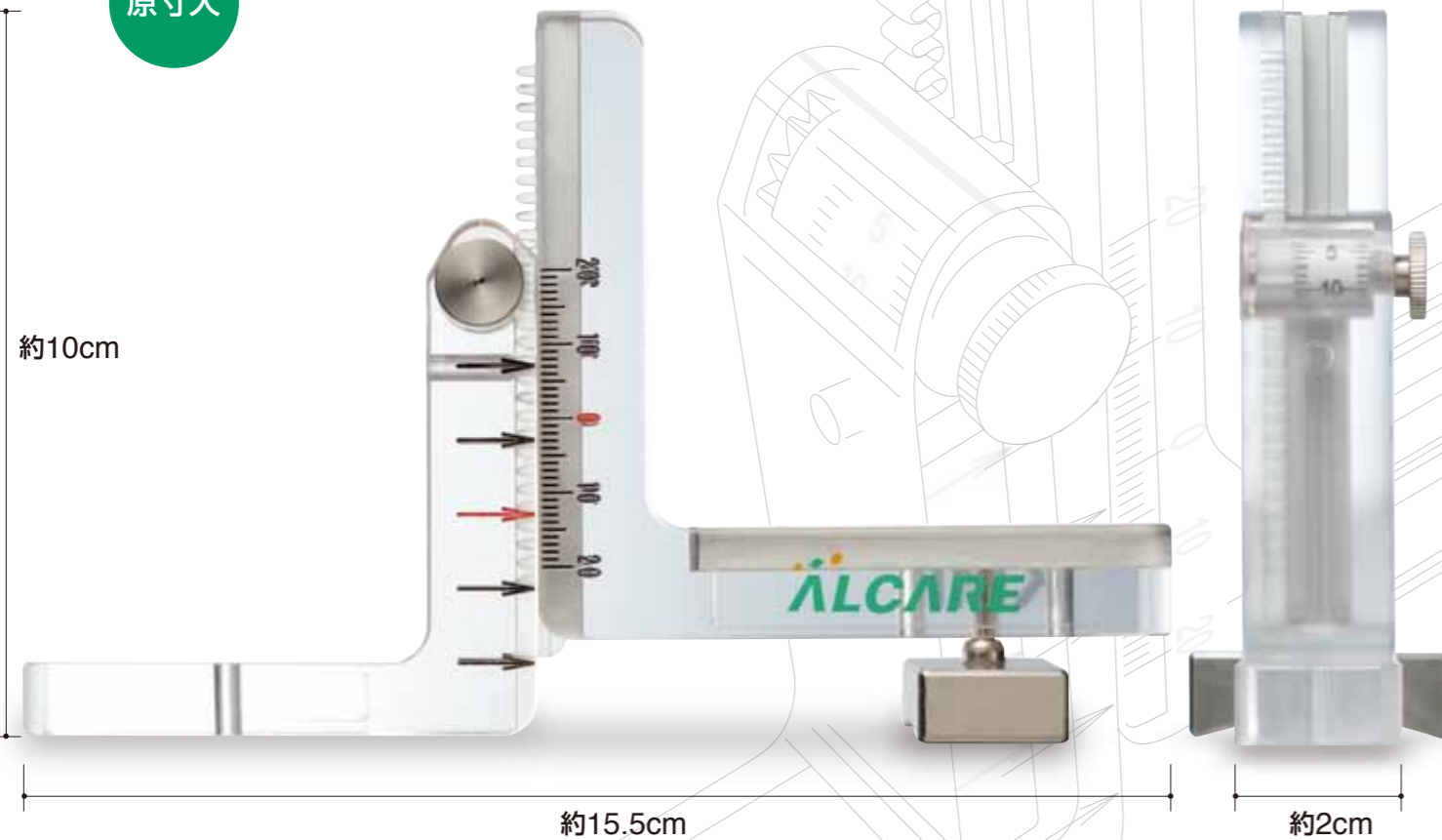
この印刷物は、EPAのシルバー基準に適合した
 地球環境にやさしい印刷方法で作られています
 EPA「環境配慮印刷推進協議会」
<http://www.e3pa.com>

携帯可能な《KMI》で脛骨前方移動量(ATT)の定量評価を実現。

《KMI》(Knee Measure Instrument)は、脛骨前方移動量を定量評価できる軽量かつコンパクトなATT*測定器です。膝前十字靭帯損傷の診断では、ラックマンテストやさまざまな測定装置により測定が行われていますが、ラックマンテストのような徒手では測定結果を定量化することが難しく、従来の測定装置は、大きく重く、手間がかかるという課題がありました。《KMI》は、軽量・コンパクト化を実現し、ラックマンテストの要領で簡便に測定が可能のため、患者さんの負担を軽減します。容易に測定が可能で、ATTの定量評価を実現します。

*ATT…Anterior Tibial Translation

原寸大



● 重量：約165g (携帯時：縦9cm × 横8.5cm × 厚さ2cm)

軽量・コンパクト

ポケットに入れて持ち運び可能

重量約165g。携帯時には重ねてコンパクトにでき、ポケットに入れて持ち運びができます。



簡単測定

準備から測定まで取扱いが容易

Step1

パーツの位置を入れ替えて測定の準備をします。



Step2

回転目盛りをゼロに合わせて、測定を実施します。

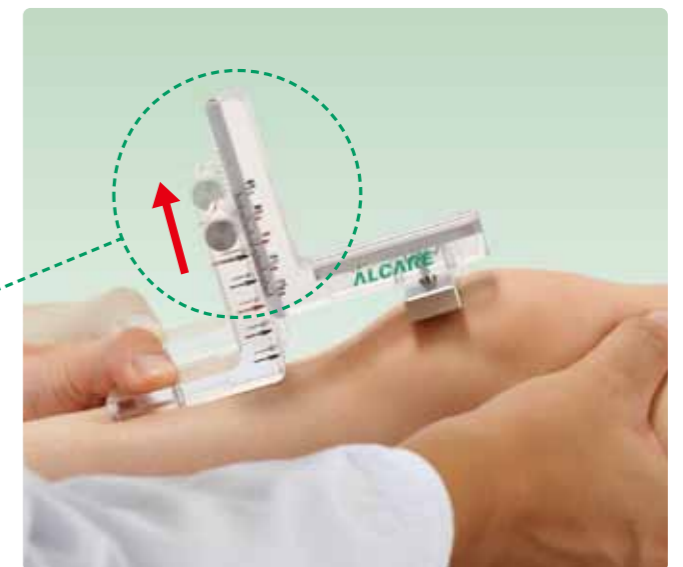
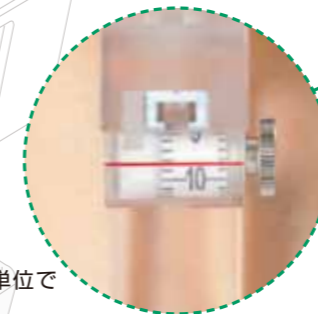


数値化

ATTを1mm単位で測定可能

ラックマンテストの要領で本体と腓腹を把持したまま、下腿に前方引き出し力を加え、回転目盛りの最大移動量を読みます。ATTを1mm単位で読み取ることが可能です。

1mmの単位で測定可能



〈サポートベルトの使い方〉

測定対象者の下腿周囲が大きく、本体と腓腹を把持できない場合や本体が安定しない場合に、サポートベルトを下腿に巻き付けて使用することで、スムーズな測定ができます。



使用に関してはアルケア株式会社のWEBでご確認ください。

<http://www.alcare.co.jp/kmi/>

